

0006 Figure <檻樓> 011111

オレ作、Figure 檻樓君のブログ初お披露目。このボロ人形、2,3年前から作りだした。今100体たらずがおられる。机、棚、天井と並んでいる様はまさにボロ。「なに！これ」「子どもが作った？」「こんなものを作ってどうするの」と、いろいろ話はほとんどない。「すごいすごい、撮る」と言ってくれたのは写真家の中西プロだけ。

昨日近所の小学校に行った。近所の大人のボランティアが子どもと遊ぶという講座で、3年生の教室に。そこ教室の後ろの棚に檻樓君と同じようなFigureが並んでいるではないか。段ボールの紙を切り、貼り、剥がし、こねる、とあらゆるテクニックを使って野菜、魚、動物を作っている。大きさもオレの檻樓君と同じ。「わお～」と感激。担任の先生が「飾るのに何かいいアイデアは？」と聞かれて「ふたのない箱を横にして、内側に彩色、その中に、たこやエンジンなどを並べ、会話をさせて・・・」と考えているうちに、オレンチの檻樓君「言いたいことは？何を考えているの？」と思惑が広がっていく。檻樓君に会話をさせる、思いを叫ばせる。霞のかかったオレンチの脳が少し揺れる。それこそ、みなさん、何かいいアイデアは？

0007 中央アルプス 081111

中央アルプス 鳩打峠→烏帽子岳→池の平山テント泊（2327m）→念丈岳→高森

今回の山のとっぺん、池の平山で朝を迎えた。前日3時起床、早朝大阪を出発した寝不足でぐっすり眠れた。日の出までは時間のある5時頃。そう寒くはない、たぶん零度には下っていないのだろう。テントを開けたら朝焼けがきれい。低木の向こうに少しと紅をさす空気。夜の空色が徐々に透明になり、その中にブルーとバイオレットをすこしずつ垂らし、朝焼けの部分はレッドとイエローを垂らす、なんて絵を描いている気持ち。それで、うっすらとした中に朝焼け色が出来上がる。

昨日の晩飯は五目寿司と野菜たっぷり汁。料理係の河瀬さん、水を節約した料理と言っていたが、なかなかうまい。山のとっぺんで、焼酎の湯割り、汁に五目寿司、いくつかのあてとは豪華絢爛なり。この山は小屋がない水場もないので水、茶、酒を含めて6.5リットル、それにテント、シラフ、食糧、防寒衣料とオモイオモイ。登りの途中、なんだかフラフラするが、もしや脳梗塞か、心筋梗塞か、単なる寝不足かと案じつつ、要所々々でしっかりした岩や木や根っこを掴んで三点確保。「80、それは大変即入院の数字」と声が聞こえる。後から聞けば、血中酸素を測る器具を持っていて、数字が少なかったようだ。フラフラするのは酸素不足の貧血状態だとか。食事の際オレも測ったら94の数字。「大丈夫」の声。

二日目は天気も最高、眺めも最高、人影もなく、いい感じの山でした。上の方の木々の緑が、下の方の紅葉がきれい。このきれいな色に比べ、我々が住む都会近郊の森や山は、ほこりをかぶって、だいが鈍い色なのだ。戸に回いい気持ち。鎌を持って、登山道作りにボランティアをしている方に会ったが感謝々々である

0008<111111>数字の1が6つ！！ 111111

<111111>

本日は、1という数字が6つ並ぶ日で、仕事場のカレンダーには年始から赤丸がつけてある。サインと記してある。若いころから絵が出来上がると、<TAKA>とサインを入れてきた。その横に日付を書いてきた。11日・11月・2011年の11、この数字が111111なのである。平成23年なのだが、描いているのが洋画なので、年号は西暦で入れている。今ふと考えてみればこんな素晴らしい数字は生涯にないのかも。010101とか101010とか来年の121212があるが、同じ数字だけというのはオレの生涯、今日だけなのだ。改めて感動。なんてつまらないことでほくそ笑んでいる、今日

のオレ。明日の12日が下の娘の誕生日だそうで、今日は1日早い誕生食事。図版は、まだ絵具の乾かない絵を床に寝かせてあるが、絵の具が乾いたらサインを入れるつもり。

0009 ニホンオオカミの話 151111

以前、前に丸山直樹という方のオオカミに関する本を読んだ。今年は2回も大台ヶ原に行つてく絶滅種オオカミの再導入しなければいけないという話を思い出した。本州のニホンオオカミ、北海道のエゾオオカミ共に絶滅して一世紀ぐらい？それまではここらあたりにも、オオカミが居たそうだ。鹿、猪等は天敵が居なくなって増えるばかりで、その害があちこちに出ている。大台ヶ原の荒れようはその一例だとか。再導入とはトキを中国から持ってきたように、小型のニホンオオカミと同種を〇〇国から、大型のエゾオオカミと同種を〇〇国から持ってくるという話だそうだ。丸山さんの本には、オオカミは恐ろしい動物と忌避する声もあるが、昔からのオオカミの害の例、再導入した外国の例等も書かれていた。

オレ毎日のように人所の安威川河川敷に行くが、人のあまりいないところに野良犬が5、6匹いることがある。先日も増水で5、6匹が土手の上に寝そべっていた。「やばいな、怖がったら負けるぞ」と思って近づいたら、一匹が吠えかかってきた。「こらあ」と手を挙げるとその集団はだらだら歩いて行ったが「人間の男一匹ぐらい本気にかかれればやっつけられる」という態度。一匹の声に呼応して、何匹もが牙をむいてきたらと思うとぞっとする。

オレもオオカミ導入は賛成だ。日本の山や森にオオカミが居た元々の姿に戻すということは大事だと思う。我々ヒトの行動・存在が生態系を歪めていると思う反面、衣食住の満ち足りた生活がしたいとわがままを言う人間。オオカミやクマが害獣なのか、シカやイノシシが害獣なのか、人間が害獣なのか。オオカミ導入に賛成の人、とんでもないと反対の人がおられるようだが、皆さんはいかが。

0010 酒のんでますか 181111

酒と聞くと、何十年間の愚行、一言では話せません。いやあよく飲ませていただいた、そうとう量飲んだ、なんと言ってもうまかった。酒はうまいものだ。

ただここ何年か歳のせいで酒の量が減ってきました。毎日たくさん飲んでいて身体がだるい。だるいのはいやなので酒の量を減らしている。友人知人で減らせない人の話をよく聞くと、オレ今は大酒は週1回ぐらいにしています。40歳代、50歳代の頃は毎日のみたいと思った、飲みだすと時を忘れた。その何時間か“バカ”を言っていたのだろう、いやがっていた“やつ”もたくさんいたはず、この場を借りて“ごめん”なさい。

二日前もたくさん飲んだ。一日中飲んでいて。心の底から酔って、何も見ず、なにも思わず、頭の中が澱んでいた。酒は日本酒が一番うまい。次はブランデーとウイスキー。最近は焼酎が、はやっていてお付き合いで飲む。最近の焼酎はまずくはないが(変な表現でゴメン焼酎クン)二十歳代の頃飲んだ焼酎はまずかった。アレな何だったのかな。新宿あたりで飲んだ“ホッピー”とか“梅割り”とかはまだあるのかな。

オレの酒を飲む時間は晩飯を食って風呂も入って、仕事場で一人やるのです。アテは小皿に野菜くずでもあればいい。絵を見ながらグジグジ飲む。軽い酔いが回ると思考が変わる。これがいい。酔いが重くなるともうだめだが・・・。大酒を飲んでいて“やつ”が“もう一生分飲んだから打ち止め”と言っていた。オレの場合そう簡単にはやめられないが、だるいのはいやなのでほどほどに飲んでます

0011 不細工 それはいかん 221111

不細工か、不細工でないか、それが重要

楽器の中にセロがある。セロを弾いている人が居る。本当にそこにセロがあるのか？本当にそこにセロを弾いている人が居るのか？本当にセロの音は奏でられているのか？本当というが、本当は本当にあるのかな？

自分が生きている。今が2011年である。地球の上に立っている。こんなことを言う思考・思想の原点はオレの脳。こんなことは、仮の姿、仮の設定、仮の状態、なのか、な・・・。

飲んでいた時、「オレって何、オレの人生って何・・・」60歳を過ぎた男。この人には“次”が開かれるかも！
“画とはなんだ”

「50cm x 60cmの画面が在るとして、ここには赤色、ここには青色と、絵の具を置いたものだ、それだけだ」
その50cm x 60cmの画面の上に、画を描く人が、思考を込め、思想を込め、何を、何を、何をと詰め込んでゆく。詰め込み過ぎても足りなくても不細工だ。不細工か不細工でないかが重要だ。時々こんなことも考えている。

0012 あなたってすごい 281111

娘が男の幼児を遊ばしながら「男はこんな子どもも、中年も、オジンも“すごい” “こんなことよく知っているね、すごい”と囁きたてたら、喜ぶ、働く、ケタイな生き物」とのたまう。どこかの飲み屋のホステスさんが、男の操縦、殺し文句はやはり“すごい”だとおっしゃっているのを聞いたことがある。オレも“すごい”と言われたら鼻の穴をふくらませ、せつせと重いものを運ぶかも、と苦笑。

ふと思うが、絵の、美の女神さまがそっと寄り添って「あなたって“すごい”」と言ってくれないかなあ。大いなる高揚、間違いなしなのだが・・・。

ところで女の方々への殺し文句は何かな。「若々しくみえる」「美しい」「きれい」「似合っている」どなたか一つ決めてくれませんか。

今日の絵は、主人公の男の幼児君が今夢中になっている“建設重機”を描いた。自分の子どもが女二人だったので、車、列車、重機、銃器、こんなものが好きなのかと驚き。そういえば、オレの友人、列車が好きなオジンがいる。車の好きなやつも。そういうオレも、建設現場を見るのは好きだ。何時間見ても飽きないね。これには苦笑。